

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 映像学

試験科目 映像学 科目

問 1

以下の(1)～(3)のうち、2つを選んで、それぞれ10～15行の範囲内で解答してください。例に挙げる作品や理論はこの国・地域のものでも構いません。

- (1) 映画・映像学研究では、作品をテキストとして解読するだけでなくスクリーンと観客の間の情動を伴う身体体験に着目しながら分析する重要性が指摘されてきました。この指摘は、どのような作品あるいはジャンルに関して特に重要か、具体的な例を挙げながら自分の言葉でわかりやすく説明してください。
- (2) 消費文化の歴史と映画史の相互関係について、重要な作品やジャンル、あるいは作家を具体例として挙げながら自分の言葉でわかりやすく説明してください。
- (3) 映画における「同一化」(identification)の働きはどのように説明できるか。重要な理論家あるいは研究者を明記してその考えをわかりやすく説明してください。

問 2

次の英文は、Bill Nichols, Introduction to Documentary (Bloomington and Indianapolis: Indiana University Press, 2001), pp. 130-133からの抜粋です。著者は、6つのドキュメンタリーの様式(mode)の一つとしてパフォーマティヴ・ドキュメンタリーを論じています。このテキストに即して、続く問いに日本語または英語で答えてください。

- (1) 著者は、パフォーマティヴ・ドキュメンタリーの特徴はどのようなものだと論じていますか。要点を3つに整理して示してください。
- (2) 著者はパフォーマティヴ・ドキュメンタリーの特徴をどのような具体例によってどのように説明しているでしょうか。具体例の一つの取り上げて、(1)の要点をわかりやすく説明してください。
- (3) 著者はそのような特徴をもつドキュメンタリーの様式をなぜパフォーマティヴと名付けていると考えられるでしょうか。わかりやすく説明してください。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送信について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門

試験科目 映像学 科目

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送信について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

(中略)

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門

試験科目 映像学 科目

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送信について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

(中略)

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送信について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

【解答にあたっての注意】

◆ 専門試験は、次の2つからなる。そのすべてを解答すること。

(1) 日本文化学に関する文献解読

(2) 日本文化学に関する論述問題

◆ 解答は「文献解読」「論述問題」に分け、それぞれの答案用紙を用いること。解答スペースが足りない場合は、答案用紙の2枚目に記述してもよい。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本文化学

試験科目 文献解読 科目

次の文章は多田蔵人『文体史零年』（文学通信、2025.3）の序文の一部である。

- [1] この文章の趣意を 5 行程度で要約しなさい。
[2] 以下からキーワードを一つ以上選択し、この文章を批評しなさい。首尾一貫した論述を行うこと。

言文一致 メタ・フィクション 写生 ハイブリッド性 メディア

『猫』の第二章は、猫が「吾輩は新年来多少有名になった」と読者に告げてはじまります。苦沙弥先生の家に猫を描いた年賀状が三枚舞いこみ、その一枚に「吾輩は猫である」と書いてあることを見るに、猫はどうも、苦沙弥先生が発表した『吾輩は猫である』という文章によって有名になったようなのです。

ここには、作品のウチとソトの境界を攪乱していく『吾輩は猫である』の戦略があります。『猫』の読者はまず猫が苦沙弥を面白おかしく描きだす文章を読むわけですが、この「猫が苦沙弥を描く文章」は苦沙弥自身が描いたものとされ、この苦沙弥の文章について文中の猫がまた言及する——それでは目の前にある「吾輩は猫である」という文章は、誰が書いて（話して）いる文として読むのがよいのか。『猫』はこの錯綜した関係図のなかに、読者を誘いこむわけです。もちろん常識的には作者・夏目漱石が書いているということになるのですが、この作品には夏目漱石にそっくりな「送籍」という文学者もまた登場していて、情報の起源をめぐる迷宮はますます複雑なものになっています。

苦沙弥先生は文章だけではなく絵でも、猫を熱心に「写生」する存在でした。

不図眼が覚めて何をして居るかと一分許り細目に眼をあけて見ると彼は余念もなくアンドレア・デル・サルト「友人の迷亭先生が作り出した、実在しない写生画家」を極め込んで居る。「略」彼は彼の友に擲擲せられた結果としてまず手初めに吾輩を写生しつゝあるのである。（二）

迷亭にそそのかされた苦沙弥が猫を「写生」し、猫が苦沙弥その人や絵の出来ばえを「写生」しかえしてみせる場面です。苦沙弥と猫の主客関係の複雑さは、猫が有名になる第二章よりも前から作品に埋め込まれていたわけです。そう考えてみると、この作品の構造は「写生」をめぐるだまし絵のようなものと捉えることもできるでしょう。『吾輩は猫である』が連載された雑誌「ホトトギス」には、漱石の友人の正岡子規が提唱した「写生文」の欄が、継続的に設けられていました。『猫』には対象を精緻に把握する「写生文」の方法から出発しつつ、それを超えて出てゆこうとするような文言があります。

二十四時間の出来事を洩れなく書いて、洩れなく読むには少なくとも二十四時間かゝるだらう、いくら写生文を鼓吹する吾輩でも是は到底猫の企て及ぶべからざる芸当と自白せざるを得ない。（五）

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本文学

試験科目 文献解読 科目

猫は写生文の限界を時間の面から指摘していますが、『吾輩は猫である』という作品はさらに、写生の基底をなす関係そのものを相対化してみせています。たとえば猫を写生するとして、猫の目に写生画家の姿が映っていたり、画家の隣で画家とそっくりな男が絵を描いていたりしたら——写生主体の近くに別の写生主体が配され、写生する／されるまなざしが乱反射しはじめるありさまを、漱石は作り出しているわけです。

『猫』が選んだ「吾輩はくである」という滑稽なほど尊大な口調が、よく考えてみると主体を透明化する「写生」という営為にまったく適さない文体だったことも指摘しておいていいでしょう。この、演説というジャンルからも写生文というジャンルからもはみ出した「吾輩はくである」という文体は、特定のジャンルに從属することなく「文」を眺めわたしてゆく手法として有効でした。

じつさい、『吾輩は猫である』には実にたくさんさんのジャンルの「文」が登場します。苦沙弥先生が擬っている「謡」や「俳句」、迷亭が会に参加している「短歌」、随所に引用される漢詩、東風君が金田の娘に捧げた「新体詩」、新体詩と俳句が会って生まれた「俳体詩」、よく猫に覗かれる「日記」、年賀状をはじめとする「手紙」、東風の聞く「朗読会」、苦沙弥の子供が歌う「唱歌」や彼らが真似するおとぎ話、八木独仙や寒月の「演説」、迷亭のギリシャ史談義……。苦沙弥がむやみに酒を飲み「大町桂月が飲めと云つた」からだという大町桂月は、明治

三〇年代に大流行した「美文」というジャンルの創出者の一人でした。とくに口語文——しゃべるように書く文体——のヴァリエーションに対する『猫』の鋭敏さは驚くべきものがあり、たとえば水島寒月君が演説を練習する場面では、迷亭君が「講釈師」すなわち講談と「演舌家」とでは言葉づかいが違々と指摘しています。

「倦^う愈^{よく}」本題に入りまして弁じます」「弁^ひじ^ます、なんか講釈師の云ひ草だ。演舌家はもつと上品な詞を使つて貰ひ度ね」と迷亭先生又交ぜ返す。「弁^ひじ^ます、が下品なら何と云つたらいいでせう」と寒月君は少々むつとした調子で問ひかける。「略」「それでは此両三句は今晚抜く事に致しまして次を弁じ——え、申し上げま

す。(三)

猫が人の家に入り出すようなのびやかさで次々に言及していく多種多様な「文体」の群れは、たまたま取り上げられた一過性の現象などではなく、いずれも当時の雑誌や新聞などでそのありかたを大真面目に論議された文の形式でした。

近代文学における「文」の雑居状況は、よく言われる雅文体（文語文）／俗文体（口語文）／雅俗折衷体といった三分法や音声と書記の二分法の組み合わせでは到底整理しきれないほど多様です。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本文化学

試験科目 論述問題 科目

次の〔1〕〔2〕について答えなさい。

〔1〕文学やその他の芸術作品において、「検閲」を考慮に入れることにより、どのようなことが論じられるか。具体的な事例・作品を挙げて、10 行程度で具体的に論述しなさい。なお、ここでいう「検閲」は、国家などによるものだけでなく、創作者自身による自己検閲や掲載媒体の編集部によるものなど、幅広い範囲の「検閲」を指すものとする。

〔2〕次に掲げた事項についてそれぞれ知るところを述べなさい。解答する事項の記号を各々必ず記すこと。

- a. 森田草平
- b. 石牟礼道子
- c. 女性とプロレタリア文学
- d. 文化の翻訳

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 文化動態学

試験科目 科目

次の 4 問の中から、自分の研究計画に関連の深い 2 問を選んで解答しなさい。
解答は下記の「解答上の注意」にもとづいて書きなさい。

《解答上の注意》

1. 解答は 1 問につき答案用紙 1 枚以内で書きなさい。
2. 答案用紙には受験番号、氏名および選択した問題番号を書きなさい。
3. 同一の答案用紙に複数の問題の解答を書いてはいけません。また答案用紙の裏面を使ってははいけません。

1. 情報化社会の到来は都市社会空間の構築にどのような影響を与えたのかを具体例を挙げて、論じなさい。
2. ボーダー（境界線）は様々な社会的文脈でどのような意味をもっているのかを具体例を挙げて、論じなさい。
3. セクシュアル・マイノリティと呼ばれる人々についての研究の中で、「カミングアウト」という概念が用いられるようになって久しい。この概念を使う研究上の利点、逆にその概念が抱える問題点について、それぞれ具体的な例に言及しながら論じなさい。
4. 社会調査において、調査を実施した結果、調査対象者や調査地に迷惑をかける場合がある。民俗学者の宮本常一は、1970年代にすでにそれを「調査地被害」と呼んでいるが、こうした状況は調査に関わるかぎり、つねに発生する可能性はある。自分が調査する場合に、どのような点で調査対象者や調査地にたいして迷惑になると考えるか。またそれにどのように対処すべきであるかについて、具体的な事例をあげて、自身の考えを述べよ。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門

ジェンダー学

試験科目

科目

下記の問 1～3 のうち 2 問を選択し、以下の①～③に従って、答案用紙に解答しなさい。

①答案用紙には受験番号、および選択した問題番号を書くこと。

②答案用紙は、1 問につき 1 枚を使用すること。スペースが足りない場合は、裏面を使用しても構わない。

③解答は序論・本論・結論の構成で書き、序論には主題 (Thesis Statement) を含めること。

問 1 クィア理論は 1990 年代以降、固定化された性アイデンティティ (性自認) を問い直し、異性愛規範や性別二元論を揺さぶる理論として発展してきた。その中心には、アイデンティティを固定化する政治 (アイデンティティ・ポリティクス) に対する批判がある。クィア理論によるアイデンティティ・ポリティクスへの批判の要点を整理し、現代社会において、この批判的態度がもたらす意義と限界について、具体的事例を踏まえながら論じなさい。

問 2 LGBTQ+ の権利やジェンダー平等が、企業や国家のイメージ戦略に利用されているという指摘がある。このことは、性の多様性を社会に広く可視化する契機ともなり得る一方で、「ピンクウォッシング (pinkwashing)」と称されて、批判の対象にもなっている。ピンクウォッシングがどのような仕組みで生じるのかを説明したうえで、それが批判の対象となる理由を、具体例を交えて論じなさい。

問 3 例えば以下の図のように、出生率とジェンダー平等 (女性の労働力率、男性の家事・育児負担割合、他を含む) との関連が論じられることは少なくない。これら二者 (出生率とジェンダー平等) の関連について、あなたの考えを論じなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送信について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 メディア文化社会論

試験科目 メディア文化社会論 科目

メディア文化社会論の専門試験は、次の 2 つの形式からなる。

- (1) 論述問題 問 1
- (2) 長文読解 問 2-1、問 2-2、問 3-1、問 3-2

解答上の注意

- ◆ 解答用紙に受験番号、選択した問題番号を書きなさい。
- ◆ 解答用紙のスペースが足りない場合は、裏面を使用しても構いません。

(1) 論述問題

問 1 次に挙げた A) から J) の中から 2 項目を選び、メディアと文化と社会の研究における重要性を含め、自分が知っている内容を述べなさい。選んだ項目の記号を明記した上で、日本語または英語でそれぞれ 5 行程度にまとめること。

- A) Affordance アフォーダンス
- B) Agenda setting アジェンダ設定
- C) Attention economy アテンション・エコノミー
- D) Celebrity セレブリティ
- E) Digital detox デジタルデトックス
- F) Mediatization メディア化
- G) Participant observation 参与観察
- H) Platform capitalism プラットフォーム資本主義
- I) Postfeminism ポストフェミニズム
- J) The tourist gaze 観光のまなざし

2) 長文読解

次の文章は Patrick Jagoda 著の *Experimental Games: Critique, Play, and Design in the Age of Gamification* (2020 年、Chicago University Press 出版)、17~18 頁からの抜粋です。これを読んで、問 2-1 と問 2-2 に日本語または英語で答えなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送信について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

問 2-1 ゲームが 21 世紀の新自由主義社会における「遊び」と「労働」の様式をどのように変えたかについて説明しながら、本論文の主旨を要約しなさい。(12 行程度)

Summarize the main idea of this reading, with reference to how video games have altered modes of “play” and “labor” in twenty-first century neoliberal society. (Your answer should be approximately 12 lines long)

問 2-2 著者は「非物質的労働」の体制では、仕事と遊びが曖昧になる」と論じていますが、自分の経験では、このような現象を観察したことがありますか。デバイス、アプリ、プラットフォームなどの具体例を挙げて説明しなさい。(12 行程度)

Provide a concrete example of what you think the author means by “within a regime of so-called “immaterial labor,” work and play blur.” Are there any device, apps, or platforms where you have observed this phenomenon? (Your answer should be approximately 12 lines long)

次の文章は、石川洋行「消費社会における認識問題 社会変動と＜日本共同体＞のゆくえ」『消費と労働の文化社会学 やりがい搾取以降の「批判」を考える』（2023年、ナカニシヤ出版）、19-20頁からの抜粋です。これを読んで、問3-1と問3-2に日本語または英語で答えなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送信について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

【注】 マッチポンプ：自分で起こした問題の解決法を示して、利益や称賛を得ること。

問3-1 下線部(a)はメディアに関する研究にどのような弊害をもたらすと考えられるか、具体例を用いて論じなさい。（12行程度）

問3-2 本文で述べられた消費社会の特徴はメディアのどのような側面に当てはまるか。あなたの考えを述べなさい。（12行程度）